

令和3年度

石山高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・生徒の持つ能力を引き出し、伸ばし、可能性を広げる学校とする。
- ・生徒に、深く、しっかりと関わる指導を充実させる。
- ・普通科・音楽科それぞれの特性にふさわしい魅力ある教育を展開する学校とする。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の課題を明らかにして、学校経営に取り組んでいる。	A	A	B
	学校の教育方針や重点的な取組みなどを、わかりやすく伝えようと努力している。	A	A	B
2 学習指導	教育課程やシラバスを工夫し、生徒の学習習慣の確立や学力向上に努力している。	B	B	B
	生徒自らが課題を発見し課題解決に取り組む、探究的な学びの充実に努めている。	B	B	B
3 生徒指導	生徒が何をできるようになるか、何をどのように学ぶかを大切に授業をしている。	A	A	B
	生活習慣を確立し、気持ちのよいあいさつができるよう、指導に努めている。	B	B	B
	通学途上や学校生活での安全を確保するため、適切な安全指導に努めている。	B	B	B
4 進路指導	他人を思いやる態度を育て、相互の信頼を深めることでいじめ等のない学校生活を送れるよう配慮している。	B	A	B
	将来を見通した進路選択ができるよう、きめ細かな進路指導に努めている。	A	A	B
5 特別活動等	進路に関する情報を適切に提供するように努めている。	A	A	A
	生徒の自主性を育成するため、学園祭や部活動の活性化に積極的に取り組んでいる。	B	A	A
6 学校図書館	学校行事や生徒会活動等とおして、ボランティア活動等を支援している。	B	B	B
	生徒や教職員のニーズに応えられる図書の実を回り、生徒の読書習慣の定着に努めている。	A	A	A
7 保健・安全指導	図書に関する情報等を適切に提供し、図書館の利用促進に努力している。	A	A	A
	健康診断や保健室での指導等とおして、生徒の適切な健康管理に努めている。	A	A	A
8 人権教育	生徒の意識を高めるよう、健康についての情報を適切に提供している。	A	A	A
	生徒の人権意識が高まるよう、三年間を見とおした人権教育を行っている。	A	A	B
9 環境教育	生徒の人権を尊重し、快適な学校生活が送れるように配慮している。	A	A	B
	教科・科目やホームルーム活動等の指導とおして、適切な環境教育に努めている。	B	B	B
10 事務・管理	学園祭のゴミ減量化などの指導とおして、生徒の環境意識を高める指導に努めている。	B	B	B
	良好な学習環境を確保するため、適切な施設・設備の維持・管理に努めている。	B	B	B
11 その他 学校の取組み	個人情報保護や文書の公開等に対処するため、適切な文書の作成・管理等に努めている。	A	A	B
	学校のホームページ等を活用して、学校行事や学校の取組みに関する情報を、積極的に発信している。	B	B	B
	定期演奏会やオープンキャンパス等を開催し、中学生の進路選択に役立つよう工夫している。	A	A	A

(注)・評価表の見方：6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)ABCDの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) ABCDの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・ABCDの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。